

伊豆市の

令和4年度 わかりやすい決算書



総合政策部 企画財政課

目次

1. 決算の基礎知識

- 「決算」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 決算はどうやって決まるの？・・・・・・・・・・ 3

2. 令和4年度決算について

- 令和4年度の決算は黒字？赤字？・・・・・・・・ 4
- どのような歳入があったの？・・・・・・・・ 5
- どのように使われたの？・・・・・・・・・・ 6

3. 伊豆市の財政状況について

- 伊豆市にはどれくらい借金があるの？・・・・ 8
- 伊豆市の財政は大丈夫なの？・・・・・・・・ 9

4. 主要事業の決算状況

- 主要事業の決算についての説明・・・・・・・・ 11

1. 決算の基礎知識

Q 決算って何？

A 一年間で、市にどれだけのお金が入って、どんなことにいくら使ったかをまとめたものです。

決算は議会への報告が法律で定められており、議会に提出する資料として、決算書を作成します。

決算書では、市に入ってくるお金を歳入、使ったお金のことを歳出といいます。



どうして決算を議会に報告するの？



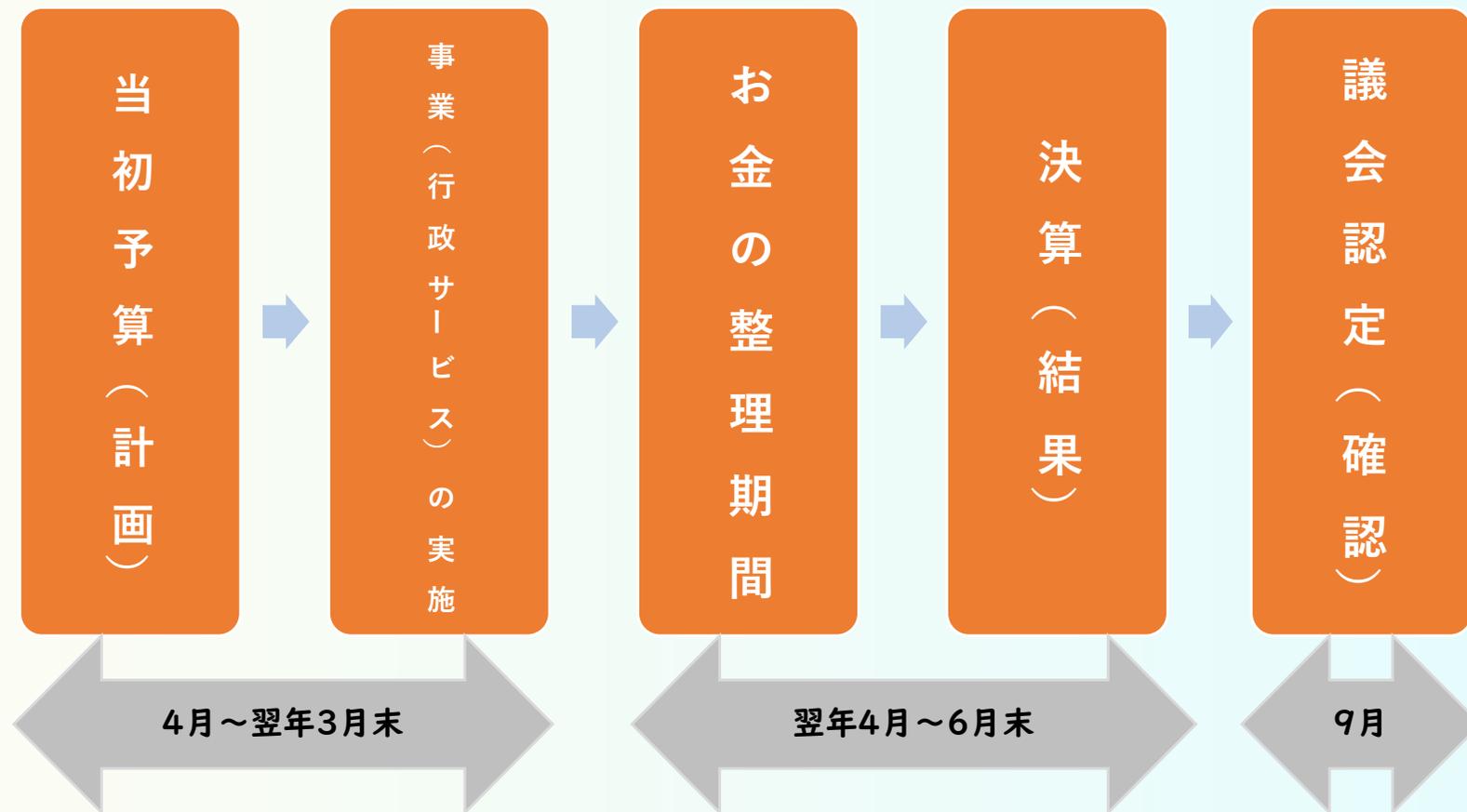
市の歳入には、市民の皆様からの税金も多く含まれています。そのため、皆様から納めていただいた税金が正しく使われているかを、市民の代表である議会にチェックしてもらうために決算報告をする必要があります。

1. 決算の基礎知識

Q 決算はどうやって決まるの？

A 新しい年度が始まると、決められた予算に基づき各課が予定している事業（行政サービス）を行います（4/1～翌年3/31）。

年度終了後、実際にどれくらいの金額が使われたかをまとめ、決算書を作成し議会へ提出し、認定をもらうことで決算が決まります。

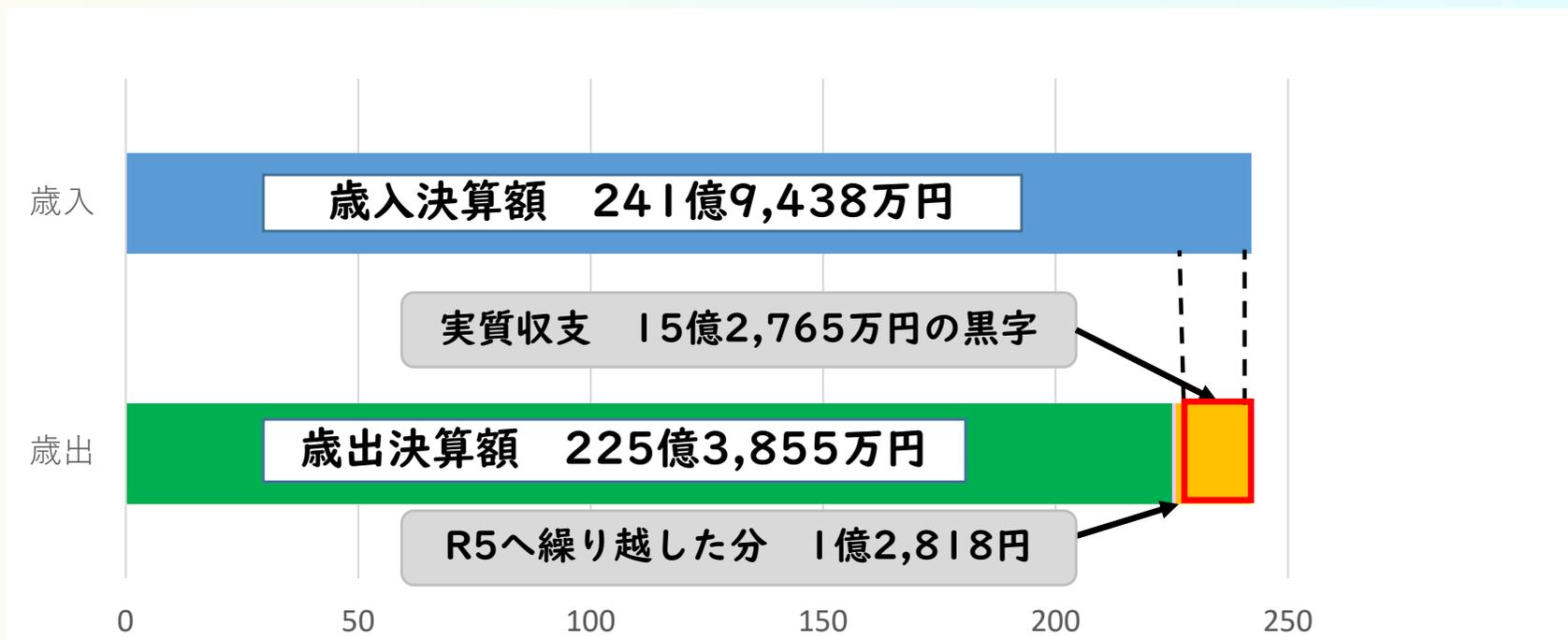


2. 令和4年度決算について

Q 令和4年度の決算は黒字？赤字？

A 令和4年度の決算額は、歳入が241億9,438万円、歳出が225億3,855万円となりました。また、歳入から歳出を引いた16億5,583万円のうち1億2,818万円は令和4年度中に完了できなかった事業のためのお金として、令和5年度に繰り越して使います。

歳入から、歳出と令和5年度に繰り越した分を引いた結果、令和4年度は『15億2,765万円の黒字』となりました。



2. 令和4年度決算について

Q どのような歳入があったの？

A 令和4年度は大きく分けて次のような歳入がありました。

項目	説明	令和4年度決算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	85億8,361万円	+6億4,884万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	41億7,518万円	+1億1,990万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	10億3,662万円	+1億6,003万円
繰入金	市の貯金（基金）を取り崩して使うお金です。	8億8,804万円	+1億9,161万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	24億8,377万円	+1億7,730万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	156億1,077万円	▲5億7,704万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	40億8,139万円	▲6,193万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	58億8,183万円	+9,464万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	44億1,890万円	▲4億5,140万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	12億2,865万円	▲1億5,835万円
合 計		241億9,438万円	+7,180万円

ポイント！



観光事業が回復傾向にあったことによる入湯税（温泉を使った入浴施設を利用した人が納める税）の増加などによる市税の増や、ふるさと納税の増加による寄附金の増により、自主財源全体が増加しました。

2. 令和4年度決算について

Q どのように使われたの？

A 令和4年度の予算は、次のとおり使われました。

目的別

<p>議会の運営に 0.6%</p>  <p>議会費 1億2,943万円</p>	<p>市役所の運営などに 12.0%</p>  <p>総務費 27億1,007万円</p>	<p>児童・高齢者福祉などに 21.5%</p>  <p>民生費 48億4,659万円</p>	<p>医療やごみ処理などに 11.2%</p>  <p>衛生費 25億1,585万円</p>
<p>雇用拡大の施策などに 0.1%</p>  <p>労働費 1,523万円</p>	<p>農林業の振興などに 2.6%</p>  <p>農林水産業費 5億9,241万円</p>	<p>産業や観光の振興などに 4.7%</p>  <p>商工費 10億7,015万円</p>	<p>道路や公園などの整備に 9.6%</p>  <p>土木費 21億6,639万円</p>
<p>消防活動や防災などに 9.0%</p>  <p>消防費 20億2,099万円</p>	<p>学校教育などに 14.3%</p>  <p>教育費 32億1,765万円</p>	<p>借金の返済に 7.7%</p>  <p>公債費 17億3,359万円</p>	<p>貯金の積立てなどに 6.7%</p>  <p>15億2,020万円</p>

2. 令和4年度決算について

性質別

項目	説明	令和4年度決算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	69億1,516万円	▲2億6,872万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	27億741万円	▲7,449万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	24億7,416万円	▲2億7,374万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	17億3,359万円	+7,951万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	51億436万円	+12億506万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	105億1,903万円	▲8億517万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	32億3,786万円	+1億1,284万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	6,938万円	▲1,231万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	44億43万円	▲11億3,525万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	14億6,763万円	+1億9,062万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	13億4,373万円	+3,893万円
合 計		225億3,855万円	+2億4,273万円

ポイント！



土肥地区に整備する松原公園津波避難複合施設や、新中学校の建設が本格的に始まったことや、（仮称）日向公園整備のための土地購入など、大型事業の影響により投資的経費が昨年度よりも大きく増加しました。

3. 伊豆市の財政状況について

伊豆市にはどれだけの借金があるの？



今年度もお金を借りたり返したりしてるけど、伊豆市の借金はどのくらいあるの？

令和4年度決算時点で借金総額は約321億円です。



すごい額だけどこんなにあって大丈夫なの！？

借金総額①321億円のうち、国から交付税としてもらう分が②約207億円、借金の返済に使うことができる貯金を③約70億円持っていることから、市の実質的な負担額は④約44億円になります。

総額を見るとかなりの額ですが、その全額を負担するわけではないので安心してください。



借金総額①約321億円

②国からの交付税
約207億円

③貯金
約70億円

④実質負担
約44億円

市民一人当たりの実質的な負担は約15万4千円

※令和5年4月1日現在人口で算出

3. 伊豆市の財政状況について

伊豆市の財政は大丈夫なの？



借金の実質的な負担は少ないのは分かったけど、結局伊豆市の財政は大丈夫なの？
どうすれば分かるの？

市の財政状況は、4つの財政指標からみることができます。

それぞれの指標には基準があり、その基準と市の数値を比べることで、その市の財政が健全であるかどうかを判断します。



～4つの財政指標の説明～

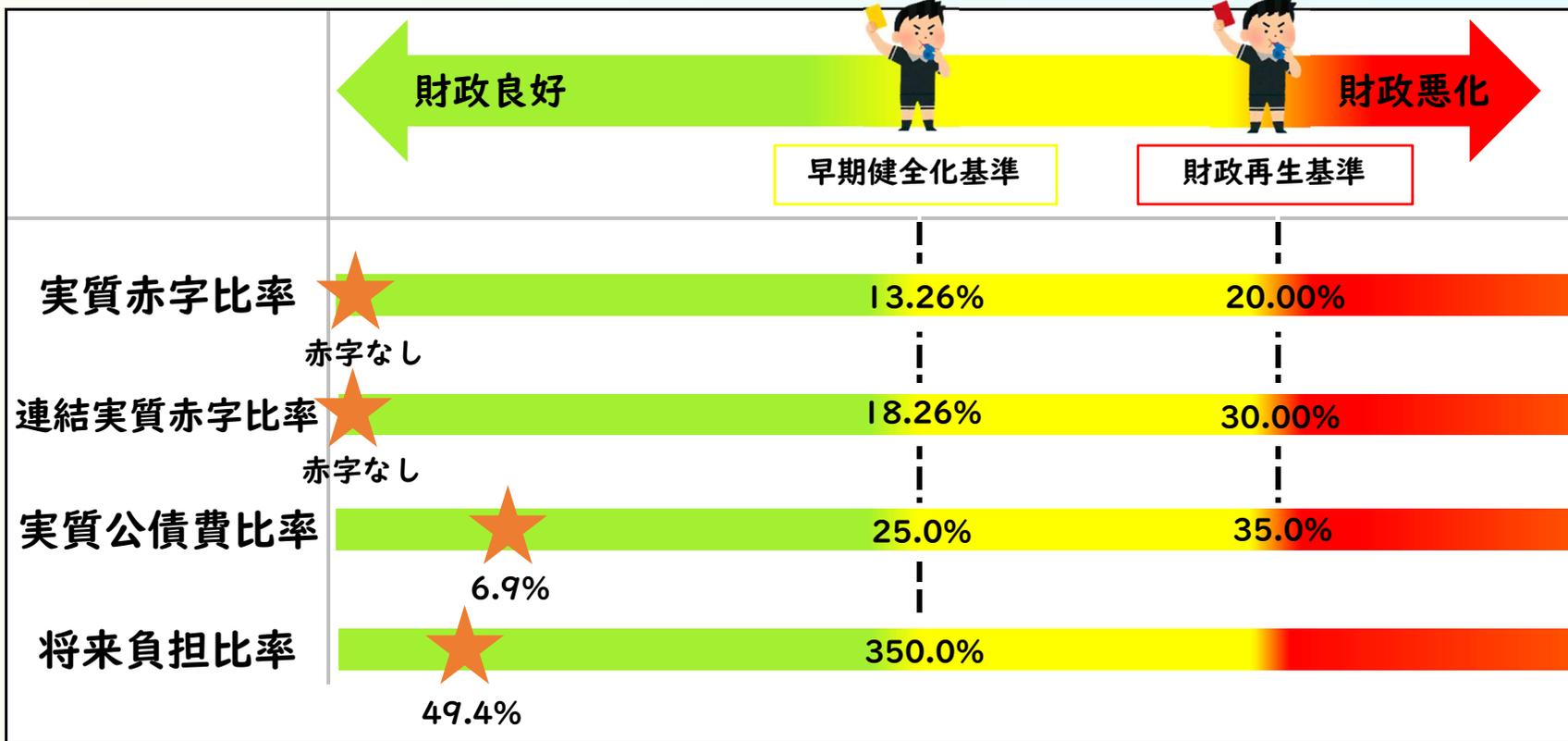
- 「実質赤字比率」 毎年安定して得ることのできる収入に対して、普通会計（一般会計と土地取得のための会計）でどれだけ赤字があるかの割合です。
- 「連結実質赤字比率」 毎年安定して得ることのできる収入に対して、すべての会計でどれだけ赤字があるかの割合です。
- 「実質公債費比率」 毎年安定して得ることのできる収入に対して、どれくらい借金を返済しているかの割合です。
- 「将来負担比率」 毎年安定して得ることのできる収入に対して、将来負担する債務（借金など）がどれくらいあるかの割合です。

3. 伊豆市の財政状況について



じゃあ、伊豆市の財政指標はどうなってるの？

財政指標について図にまとめました。伊豆市は、4つすべての指標で基準を大きく下回っており、健全な状態であると言えます。



基準よりもこんなに低くなっているんだ！
これなら伊豆市の財政は大丈夫だね！



4. 主要事業の決算状況

令和4年度に実施した主要な事業の決算状況を報告します。

重点目標 1

少子化対策と次代を担う人材の育成

出会い・婚活支援事業

決算額 241万円

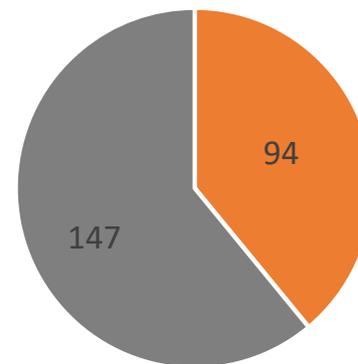
民間のノウハウを活用した婚活イベントを2回行い、市民の出会いの機会の創出を行いました。

県と市町が運営する結婚支援サービス、「ふじのくに出会いサポートセンター」の周知を行いました。



財源内訳

(単位：万円)



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

企画財政課

4.主要事業の決算状況

重点目標1

少子化対策と次代を担う人材の育成

新中学校整備事業

決算額 19億7,833万円

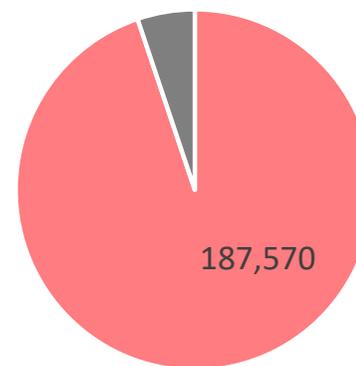
修善寺中学校・中伊豆中学校・天城中学校の3つの中学校を統合した新中学校の完成を目指し、土地購入や造成工事を行いました。令和7年の開校に向けて、建設を進めています。



▲令和7年度開校 伊豆中学校（案）のイメージ

財源内訳

10,263 (単位：万円)



担当課

学校教育課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

(仮称) 日向公園整備事業

決算額 3億2,940万円

日向地区における防災機能を兼ね備えた公園の整備に係る土地の購入や、造成工事を行いました。

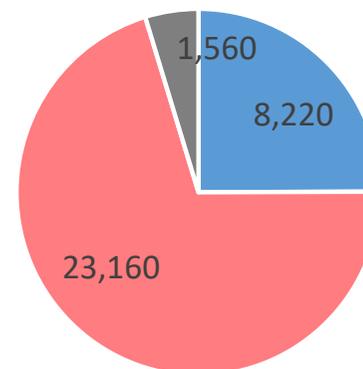
また、公園内に整備する防災施設建設に向けた土地の購入や造成工事を行いました。



▲ (仮称) 日向公園 (完成イメージ)

財源内訳

(単位：万円)



担当課

都市計画課
危機管理課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

松原公園津波避難複合施設整備事業

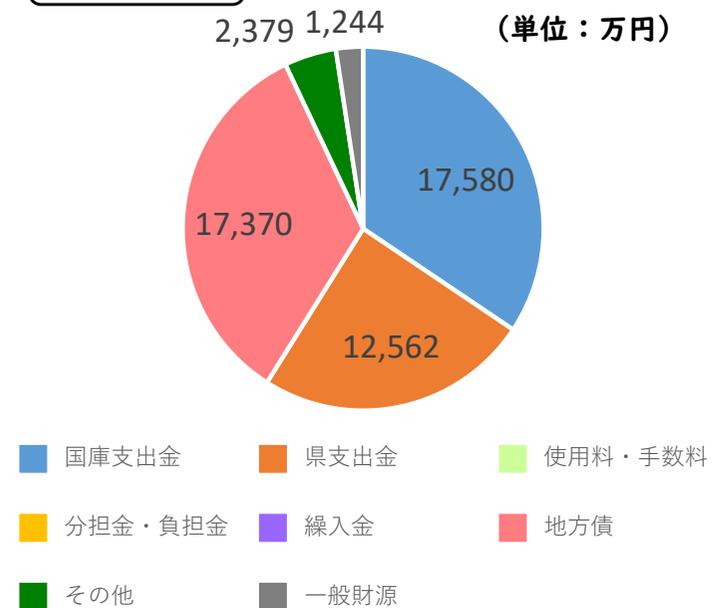
決算額 5億1,135万円

津波避難困難地域である土肥松原公園周辺エリアに整備する津波避難複合施設の建設及び松原公園の整備を開始しました。令和5年度の完成を目指し、建設を進めています。



▲松原公園津波避難複合施設整備完成イメージ

財源内訳



担当課

危機管理課
観光商工課

4. 主要事業の決算状況

重点目標3

産業力の強化

東京2020レガシー創出事業

決算額 1,895万円

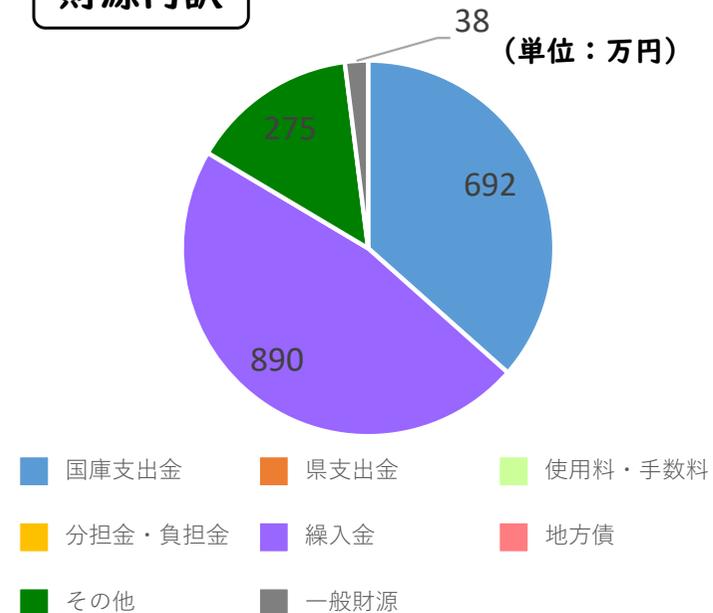
東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場である伊豆ベロドロームの施設見学会や試乗体験会を開催しました。

また、自転車の市民への普及を目的に、自転車購入に対する補助や、自転車乗り方教室を行いました。



▲伊豆ベロドロームで開催された自転車試乗体験会の様子

財源内訳



担当課

観光商工課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 3

産業力の強化

わさびの郷構想推進事業

決算額 874万円

世界農業遺産に認定された、伊豆わさびの情報発信拠点施設を、中伊豆原保地区に整備するための準備として、施設の詳細な設計を行いました。

また、畑わさびの栽培試験に必要な資材の購入を行いました。

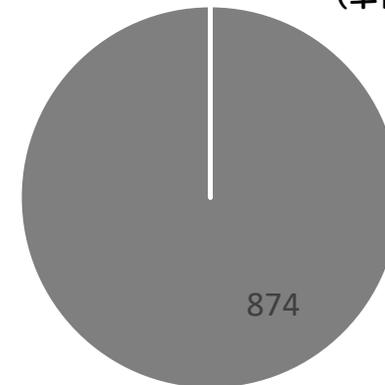


▲山間地に広がるわさび田



財源内訳

(単位：万円)



担当課

農林水産課

4. 主要事業の決算状況

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

「Izu you Connect」事業

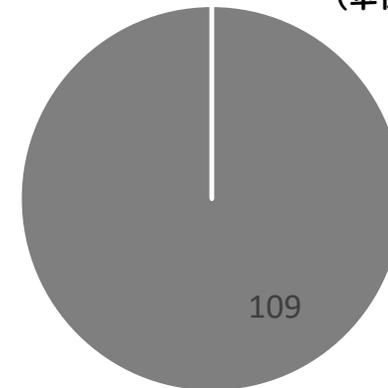
決算額 109万円

先輩移住者を「Izu you conecter」として任命し、移住相談会などのイベントでの相談対応や、移住者目線での情報発信など、移住希望者のサポートを行うことで、移住定住の促進を図りました。



財源内訳

(単位：万円)



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

地域づくり課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

「IzuCamp.comProject」事業

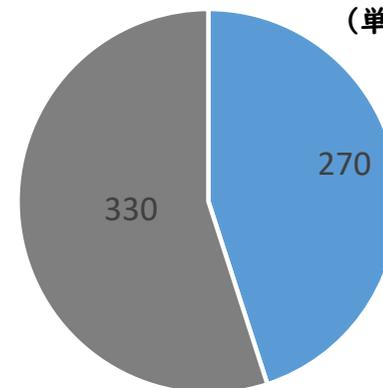
決算額 600万円

キャンプを入口とした地域活性化を推進するため、コンセプトの設定に向けたモニターツアーや、ポータルサイト構築に向けた検討を行いました。



財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|-----------|--------|-----------|
| ■ 国庫支出金 | ■ 県支出金 | ■ 使用料・手数料 |
| ■ 分担金・負担金 | ■ 繰入金 | ■ 地方債 |
| ■ その他 | ■ 一般財源 | |

担当課

地域づくり課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

牧之郷駅周辺整備事業

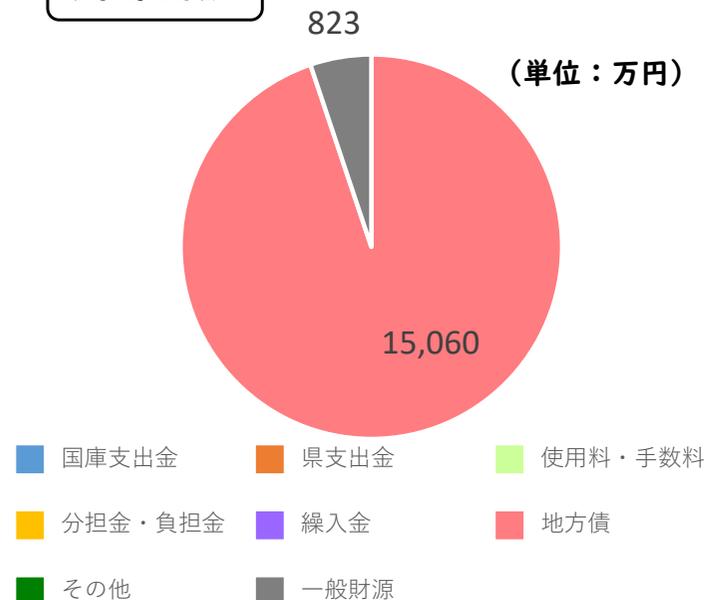
決算額 1億5,883万円

牧之郷駅周辺における交通広場・緑地
広場・生活道路等の整備工事を
行いました。



▲ 牧之郷駅周辺整備 (完成イメージ)

財源内訳



担当課

都市計画課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

交通利用助成事業

決算額 8,091万円

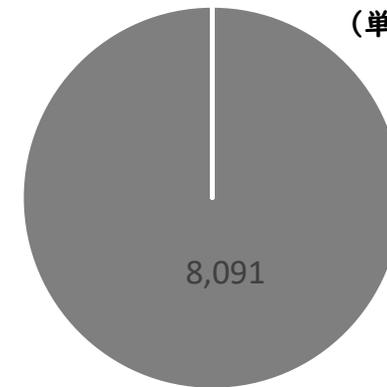
小学校・中学校・高校に通学する児童生徒の保護者の負担軽減と路線バスの利用促進のため、通学費に対する補助を行いました。

また、高齢者や障がいを持つ方の生活圏の拡大や福祉の増進を図るため、いきいきパスの購入に対する補助やタクシー・バス・鉄道の利用券の交付などを行いました。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

地域づくり課・社会福祉課
健康長寿課・学校教育課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

ふるさと納税促進事業

決算額 4億1,972万円

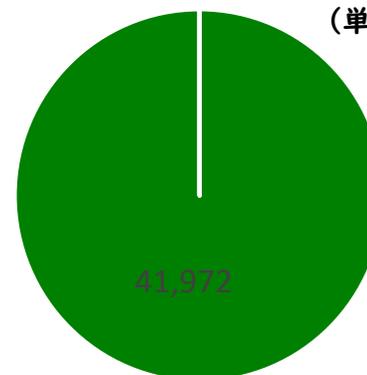
ふるさと納税のさらなる促進を図るため、LINE公式アカウントの運用や、ポータルサイトの魅力化、都営地下鉄へのPRポスターの掲出などを行いました。

令和4年度は、約10億3,500万円の寄付をいただき、過去最高額を更新しました。



財源内訳

(単位：万円)



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

企画財政課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

包括的アウトソーシング事業

決算額 1億9,629万円

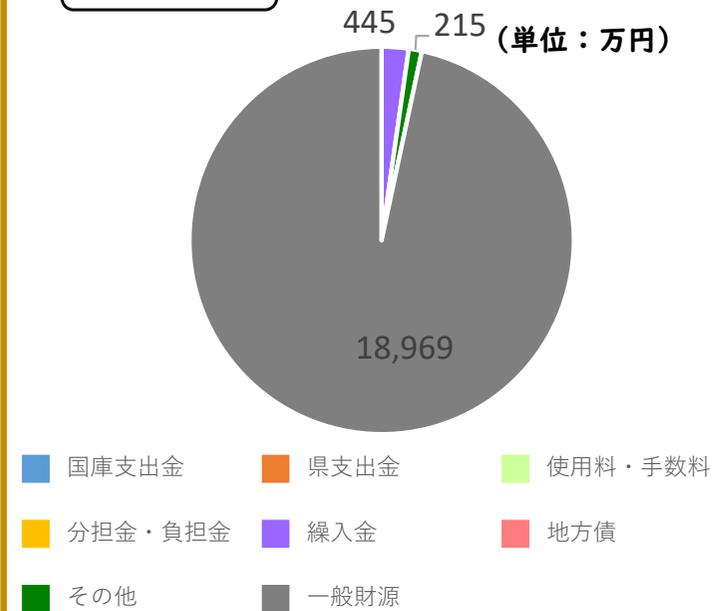
窓口業務や事務補助業務、公共施設の保守管理業務の包括的アウトソーシングを行いました。

これにより、市民の利便性向上や、職員の事務負担の軽減を図っていきます。

※包括的アウトソーシングとは・・・民間事業者の創意工夫やノウハウの活用により、効率的・効果的に運営できるよう、複数の業務や施設をまとめて委託をすることです。



財源内訳



担当課

総務課
資産経営課

令和4年度伊豆市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和6年3月
- お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ
静岡県伊豆市小立野38番地の2
電話 (0558) 72-9859
FAX (0558) 74-3067